

保護者・一般市民対象講話

思春期の子どもたち

～がんばれ前頭前野くん！・私を探して～



『思春期の子どもたち』をテーマに保護者のみなさんや一般参加のみなさんと共に学びを深めていきたいと思います。こころのゆらぎが大きく、他者の視点で世界を捉えることの多い、ちょっぴり生きづらい時期。変化していく身体に戸惑いを覚えながら、言葉化できない想いを抱える子どもたちと共にあるために、私たちは何をすることができのでしょうか。子どもから大人へと成長する中で、誰もが経験する思春期。いつかの私を探して、聞こえてくる声に耳をすませてみませんか。

不登校経験や発達凸凹などを抱えた子どもたちや保護者から学んだことも織り交ぜながらお話し出来ればと考えています。



講師 角田 修一

島田実業高等専修学校 理事長

2026

7/25 土

9:30～11:30

島田市民総合施設
プラザおおるり 大会議室

*入場無料 どなたでもご参加頂けます



お申し込み・お問い合わせ：0547-37-5209

info@shimajitsu.ed.jp

島田市教育委員会後援

講話に参加した方の声

今回の講話、もっと早い時期に聞きたかったです！思春期の心理的特徴を小学校の頃に学んでいれば、息子を理解し、寄り添い、受けとめることができたと思います。講話を聞いてすごくハッとさせられました。大人も学び、成長していかなければいけませんね！

今回初めて講話を聞きました。子どもが不登校になりだした頃に聞きたかったと思いました。私は子どもを無理矢理小学校に連れて行ったりして本当にダメな母親だったと後悔しました。当時は自分の子どもが不登校になるなんて思っていないし、子どもと向き合って話もしていなかったと思います。もっとちゃんと向き合っていたら違ったのかもしれないと思いました。でも今は毎日自分で学校に行き、友だちもできて、学校が楽しいんだらうなと思います。学校に入学して初めて「いってらっしゃい」と言えたことがすごく嬉しかったです。今回の講話、聞いてよかったです。

私は学校行事に参加する日はいつも緊張して重たい気持ちになります。毎回緊張して参加していますが、参加する度に理事長先生、校長先生の話聞いて「親もこのままでいいんだ」「こうしてあげればいいのかも」などの学びが多く、肩の荷を少しずつ降ろしたような気持ちになり、すごく楽になって帰ることができます。

今までは「親が変わらないとだめだ、子どもをすべて受けとめて、他の子とは違うから親が頑張れ」と言われてきたように思っていました。講話を聞いて「思春期の表れだったか〜、そのうちどうにかなるか〜」と思えるようになりました。先生に、「親だって思いを出して良い、親だって無理しなくて良い」と言って頂けて泣いてしまいそうでした。子どもと一緒に変わっていける自分も楽しみになりました。

これまでの講話のテーマ

- | | |
|------------|----------------------------|
| 物語につつまれて | ～ 高等専修学校と不登校教育 ～ |
| 思春期の子どもたち | ～ がんばれ前頭前野くん！・私を探して ～ |
| いじめとはなにか | ～ 隣る人・受けとめてとしての私 ～ |
| ひきこもるということ | ～ 失われた私との出会い ～ |
| 自傷する子どもたち | ～ 助けを求める援助希求の力・生きるをつなげよう ～ |
| 悲しみよこんにちは | ～ 一隅を照らす・わたしたちの声 ～ |

本校は平成元年より、全国でも先駆けてつまづいた経験を持つ子どもたちの受け入れをしてきました。その実績と知見を生かし各種講話を行っています。

地域や民間の施設でも講話や研修を行っております。ご活用頂ければ幸いです。

とびあきの 創立73周年

mini School 鳥田実業高等専修学校

